

ふれあいと語らいの同窓会



# 東実同窓会報 No.16

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会編集委員  
http://www.tojitsu-dosokai.com

## 会長就任にあたって



第34期 会長 本田 位公子

平成16年6月の定期総会において、皆様からのご支持を頂き会長に就任させていただく事となりました。

東京実業高校の82年の長い歴史の重みと伝統を考えますれば、改めて重責を深く感じております。「ふれあいと語らいの同窓会」を合言葉に、諸先輩方が長きに亘って築き上げてこられたこの同窓会に、毎年卒業する若い会員の方々も積極的に参加して下さるようになりました。これもひとえに先生方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

この会報誌も今回でNo.16号の発行となります。今後の同窓会の行事や活動等はホームページに随時記載致します。書き込みも出来ますのでどうぞご利用下さい。また、創刊の折に当時の村松濱代会長が提案した新しい名簿作りの検討を始めました。

若い方々の一人でも多くの同窓会への参加を願いつつ、常任幹事一同、精一杯努力して参りますので今まで以上にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京実業高校の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



平成16年度 東京実業高校 同窓会定期総会 2004.6.5 “プラザ・アベア”

# 東実の国際交流 —37年を経て—



理事長 上野 雅子

東京実業高校がアメリカの高校との交流を始めてから早や37年経つ。一番初めの交換留学生在が来日した時には日本はまだまだいろいろな意味で外国人を泊める“know-how”もなかったし、家も純然たる日本家屋で、台所、風呂、トイレなど悉く異なっていたわけで、受け入れて下さった家庭では、さぞ大変なご苦労が多くあったであろうと想像する。例えばお風呂。外で洗う習慣のないアメリカの生徒達はお風呂の中で石鹸を使用し、お湯を全て流してしまって、後の人が入れなかったとか、しゃがんで用を足すトイレではどうして良いか分からなかったりとか、靴のまま部屋に入ってきたりとか、今思えば笑い話のような話に暇がなかった。それが現在では、日本の多くの家庭で洋式の生活が定着し、西洋の暮らしもほとんどの人が理解し、何の苦労もなく外国人を受け入れられる状況になり、また、生徒達も事前に先輩から日本の暮らし、生活様式等教えられて来日するようで、日本人以上に礼儀正しく、箸の使い方も達者で、本当にびっくりする。

また、今年もアメリカから先生と生徒達が来日するが、この国際交流が少しでも世界の若者達同士の理解の場となり、これからの平和作りに貢献出来ればと考えている。

この交流で、東実からアメリカへ行った生徒達は去年迄で131名となるが、皆それぞれ経験を生かして活躍している。本校の英語科の知念先生は第2回の交換留学生としてボールドラーへ行き、その前年に来日した交換生のジョアンナと後に結婚した。また、昨年から生徒達に英会話を教えている浜島君子先生は、第1回の交換生として渡米し、その後外国の航空会社に勤務しながら大好きな英語を勉強し続け、今ではネイティブのように流暢な英語を話し、ボールドラーにいる知人との交流を続けている。一人息子のR君も今ボールドラー市にあるコロラド大学に留学し、親子二代に渡ってボールドラーとの絆を深めている。東実の交換留学プログラムによって、自分達の人生を決め、大きく羽ばたいた生徒達が、大勢いる事を、若かりし頃彼らを教えた事がある一英語教師として、大変誇りに思う今日この頃である。



# 我々が担う役割



学校長 上野 毅

2004年は、まさに天災の年といってもいいような1年だった。幾度となく西日本を襲った台風、浅間山の噴火、そして中越地震……今、日本だけでなく世界の自然が壊され、その怒りの表れであるかのように世界各地で災害が猛威を振るっている。

台風の影響で農作物は大打撃を受け、また新潟県では未だに自分の家でゆっくりと眠ることができず、不安に過ごす人たちが大勢いる。

今私たちにできることはいったいなんだろうか。災害に備えることも、復興に力を注ぐことも勿論大切だが、それだけでは目先の心配事を解決することにしかならず、これからの未来を根本から明るく豊かなものにするにはできないだろう。

もっと、人々が気持ちの底から明るくなれるような社会に立て直していくこと、そのために未来に羽ばたく子どもたちを、今まで以上に立派に育てることが、教育の場で生きる我々が担う役割ではないかと思う。

今日の学校教育に求められていることは、有名大学に入るためだけの「テクニック」重視の勉強をさせることや、極端に「自由」を謳って生徒を甘やかすことではなく、子どもたち一人ひとりに「考えること」「自主性」を身に付けさせることができるような場を提供することだと考えている。目的も得意な分野も異なる生徒一人ひとりに合わせた教育、一人ひとりが「選べる」学習の場を提供することが、子どもたちの成長のために必要な時間となるのではないだろうか。

国や都からの補助金が年々減っていく現実の中で、子どもたちの選択肢を奪うのではなく、もっとたくさんの選択肢を与えられるような豊かな教育環境を作っていく

ことが大切であると思う。

本校においても、私立学校であるために予算面で制約があること、校地が狭いことなどの難点をいかにクリアするかを考え、精一杯努力している。

そして、少子化で競争という波にもまれる必要のない現代の子どもたちに、いい意味でのライバル心や目的意識を明確に持って自分の道を歩いていって欲しいと切に願う。

暗いニュースばかりが目立つ昨今であるが、きっとこれからは明るいニュースばかりの時代が来ると信じ、この東京実業高校を巣立つ子供たちには、日本の未来を支えるような人物になって欲しいと願っている。



新年会

## ●お菓子のご用命はアルベリに●

和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc  
まごころこめてお届けします。

### 株式会社 アルベリ

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL : 045-581-5441

FAX : 045-573-6116

<http://www.alberi.co.jp>

第23期 山本 徳太郎

## オーダーメイド専門

企画から製品まで(多少なりとも製作いたします)

ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ  
紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他

米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入

企画・製作

### 株式会社 伊藤商店

TEL (03) 3241-1496

FAX (03) 3241-1439

東京都中央区日本橋本石町4-2-2 〒103-0021

第18期 伊藤 勝啓



# 学校近況報告



副校長 青木 英二

## ■男女共学教育の定着化

昨年3月3日共学再開の第一期生の卒業式が行われ、男子482名、女子87名が卒業しました。女子の進路は、大学・短大進学28%、専門学校進学37%、就職18%、未定12%でした。不況が続く中で就職は非常に厳しい状況で、特に女子は難しいのが現状ですが、進路部の綿密な指導の成果として、卒業式までに就職希望者はほぼ内定しました。

少子化、不況という2つの要因で私学は厳しい局面がありますが、2004年度の入学者は、前年より117名多い512名で定員を超える入学者がありました。入学者の内女子は120名で、共学再開後最高の入学者となりました。

教育をめぐる状況の変化は早く大きく、時代の変化と生徒の状況を見据えた教育が求められています。生徒に遅く生きる力を付け、自らの進路を切り拓いていける力を付けるために、教職員一同努力をしていく所存ですので、同窓生の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ■交換学生が渡米

昨年5月7日、藤吉大輔先生の引率で、男子3名、女子5名計8名の生徒が、アメリカのボルダー地区の姉妹校との交流のため出発しました。

女子生徒の一人が現地でお多福風邪になり隔離されるというトラブルがありましたが、その後は、姉妹校での学習や交流、また、ホームステイの家族との交流などを順調にすすめました。

日米の親善などの重責を果たし、各自が異文化に触れ理解を深めるなど、たくさんの財産を身につけ6月21日に全員無事に帰国しました。

## ■各クラブの活躍

### \* ブラスバンド部全国大会で金賞受賞

昨年12月19日に行われたマーチングバンド全国大会の、中編成の部で金賞を受賞しました。今回は全国大会連続出場20回目の節目の年で、従来の大編成の部、小編成の部に新たに中編成の部が設けられ、全国的にレベルが上がる中での金賞受賞でした。

### \* サッカー部初のブロック優勝

本校のサッカー部は創部18年の新しい部で、練習場も十分ではなく色々な施設を借りての練習でしたが、04年の東京都高校サッカー大会で初めてブロック優勝し、本大会リーグ戦に出場するという快挙を遂げました。本大会では敗れましたが、都のベスト8となりました。

### \* 野球部夏秋の大会で活躍

夏の東東京大会では4回戦まで勝ち進み、5回戦（準々決勝）で残念ながら安田学園に敗れました。

秋季都大会ではブロック優勝し、本大会に出場しましたが強豪日大三高に敗れました。

## ■教職員の異動

### \* 新任教職員

商業科 小島 健市先生（69期普通科）  
事務 松尾 高佳事務長

### \* 退職教職員

事務 桜井 政治事務長

東京実業高等学校ホームページもご覧ください！  
(同窓会のホームページもリンクされています)

<http://www.tojitsu.ed.jp/>

## 機械科の現況



科長 金子 健一

80余年の歴史をもつ機械科では、入学した生徒に対して機械全般の基礎からIT時代にふさわしい先端技術の習得による「ものづくり」の楽しさを学ばせています。

1年では機械科の基礎的な技能の修得として溶接や旋盤を、また、ワイヤーカットによるプログラミングとその加工、電子工作の製作実習を行っています。

2年では旋盤加工の他に金属材料の機械的性質を実験によって調べる各種材料試験、原動機の一分野でもある流体実験、アプリケーションソフトによるパソコンの活用などを積極的に取り組んでいます。

3年では実機のエンジンをを用いて分解・組立をすることでエンジンの構造や各種の部品の特性を体験的に習得、その他にアームロボットやNC旋盤・マシニングセンタによるプログラミング及びその加工、CADによる図面の作成、熱処理による材質の変化を調べる材料試験、計

測実習を行っています。また、生徒の卒業後の進路を考慮して各種技能講習会での資格習得にも力を注いでいます。

今年の東実祭では、M1A・M2A・M3Cの生徒による機械科展（特別賞）を開催し、3年間の実験・実習の内容を展示することで機械科の概要をPR出来たことと思います。また、当日見学者にはマシニングセンタの実演によるネームプレートをプレゼントしたことも好評でした。この他に、M3Bのアーチ製作（功労賞）、M3Cのらめんマン（飲食部門第2位）、M1Cのフラワーアレンジメント（展示部門第2位）が、それぞれ素晴らしい結果を得ることが出来ましたことを報告します。



作業前の緊張



エキゾートパイプの加工中



みごと完成！

●● 楽しい室内空間作りのお手伝い ●●

インテリア 遠藤商店

〒146-0085 東京都大田区久が原3-34-12  
TEL(03)3752-3027 FAX(03)3752-3359

第22期 遠藤 孝一

楽しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

〒146-0095 東京都大田区多摩川1-18-15  
TEL(03)3758-0710

第56期 佐々木 健

# 電気科だより



科長 長谷川 浩

同窓会の皆さん、こんにちは。お蔭様で今年度入学した1年生は約510人とほぼ定員に達することができました。ただ、工学系は相変わらず厳しい状況で、機械科は何とか3クラス、電気科は昨年同様1クラス編成でした。2クラスの定員が集められるよう、日々、カリキュラムの検討や現代っ子に合わせた教育法、女子生徒の募集等も考えているところです。同窓会の皆様のご協力も、何卒宜しくお願い致します。<( \_ )>

昨年10月23日に発生した新潟中越地震は、電気科研修で毎年宿泊してきました奥只見発電所近辺（小出地区）にも大きな被害を及ぼし、沢山の犠牲者が出てしまいました。「生徒が現地にいる時に起きていたら……」と思うと、ゾッとしてしまいました。平成15年より、奥只見研修は中止となっていますが、現地でお世話になった皆様や被害

に遭われた方々に、この場をお借りしまして、お見舞い申し上げます。

最後に平成16年度の「第二種電気工事士」（国家試験）の合格状況をご報告したいと思います。7月下旬の技能試験に18名がチャレンジし、15名が見事合格。免状を手にする事が出来ました。技能合格率83.3%は昨年度なみですが、4年ぶりに（受けたのも4年ぶりですが）他科の生徒が合格しました。機械科3年生の小田切君と、普通科ビジネス3年生の金島さんです。2名共、吹奏楽部で活躍しながら、放課後や夏休みの講習会を電気科の生徒と共に頑張り続け、最後まで諦めなかった結果、見事合格となりました。特に女子生徒の第二種工事士試験合格は、東京実業高等学校始まって以来の快挙です。

本当に、おめでとうございました。



平成十六年度「第二種電気工事士」合格者

スポーツのことなら!

しろかね

## 白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具  
用品・施設・工事一般  
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期 白銀 正明

—企画・デザイン・印刷全般—

## トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14  
TEL(03)5736-3447 FAX(03)5736-3448

第38期 川邊 國造

## 普通科だより

## 「文理コース」



科長 三山 弘

平成16年度の文理コースの入学者は、男子60名、女子35名で3クラス（担任は、宮田、北井、鈴木政廣各先生）編成に致しました。15年度は、共学再開後初めて女子が卒業しましたが、特に女子の就職は、男子に比べて職種が限定されるので大変心配していました。学校を介しての希望者はほぼ決まり安堵しました。また、大学進学の方は、入試の多様化により、ある程度入り易くなりましたが、本校においては一般入試での進学者がまだ少ないのが現状です。一方、進学しても若干の生徒が勉学についていけないということを聞くにつけ、いかに高校での勉学が大事であるかを認識させなくてはならないと実感しています。例年、2年次に於いて文系・理系にクラス分けを行っていましたが、17年度より進路や習熟度等によって3クラスとし、3年次に於いても若干の生徒の入れ替えを行う予定です。週5日制になって授業時間の減少による影響を考慮して、新入生からカリキュラムを再検討し、より良い形にしたいと思います。1・2年生は例年模擬試験を行っていますが、本年度より受験生の多い代々木ゼミ（一部河合塾）の模擬試験を実施し、自分が全国でどの位の成績であるかを生徒自身に認識させ、勉学の指針とさせています。また、今後は学内での講習会や補習などを充実させ、授業時間の不足を補い、成績及び学習意欲の向上に努めたいと考えています。また、生徒は学校行事及びクラブ活動においても、意欲的・積極的に取り組んでよい成果を上げています。

今後とも暖かいご支援をお願い致します。

4年目の  
ビジネスコース

科長 小畑 雅一

昨春ビジネスコースは、発足以来初めての卒業生を送り出しました。卒業生は305名（男子242名・女子63名）いずれも将来への夢を抱きながら、母校を巣立っていきました。卒業生の担任を始め私たち教員も、ビジネスコースとして初めての卒業生ということで、その進路指導にはこれまでにない苦労がありました。卒業生たちは各々その進路希望どおりか、それに近い形の進路を獲得出来たと思います。まず就職の進路を選択した生徒は男子24名、女子16名の計40名でした。不況の中、内定を得るまで数回就職試験にチャレンジした生徒もいましたが、最後にはその目的を達成しました。また進学では、大学進学者が88名、専門学校進学者が106名と、これも例年になく多くの生徒を送り出すことが出来たと思います。

さて、ビジネスコースも設置4年目を迎え、その専門的なカリキュラムと男女共学の募集が、だいたい近隣の中学校にも認識されるようになってきました。

昨年春にビジネスコースに入学した生徒は、定員より約50名多い231名（男子146名、女子85名）で、ビジネスコース1年生は5クラスの編成でスタートしています。担任には淵田和良先生、佐藤結香先生、湯尻英明先生、町田美香先生という、いずれも20代から30代前半の若手の先生に、ベテランの工藤都志男先生を加え、新たな学年のスタートを切りました。また、非常勤講師であった小島健市先生が、新たに専任講師に採用され、連日張り切って生徒の指導と教科指導にあたっています。

ようやく軌道に乗ってきた感のあるビジネスコースですが、今後も時代とそのニーズにあった教育内容を目指し努力してまいります。

同窓会の皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

ビジネスコースの生徒たち  
(2004.10.7 体育祭)

# 同窓会近況報告

## 平成15年度 収支決算報告書

自 平成15年4月1日  
至 平成16年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	15年度予算	15年度決算	科目	15年度予算	15年度決算
前年度繰越金(普通)	4,671,229	4,671,229	事務消耗品費	600,000	633,403
前年度繰越金(郵便)	8,011	8,011	通信連絡費	400,000	257,497
会費	5,000,000	5,690,000	印刷費	100,000	19,950
寄付金	100,000	322,000	会議費	600,000	463,314
広告費	60,000	50,000	総会費	400,000	374,141
東実祭	200,000	200,000	旅行費	200,000	249,417
受取利息	200	61	新年会費	200,000	53,808
雑収入	50,000	32,949	東実祭	200,000	200,000
			同窓会会報費	600,000	644,075
			慶弔費	500,000	253,047
			卒業記念品費	500,000	437,724
			助成費	200,000	200,000
			積立金	4,000,000	0
			交通費	100,000	65,860
			予備費	300,000	100,000
			次年度繰越金(普通)	1,189,440	7,022,014
			次年度繰越金(郵便)	0	0
合計	10,089,440	10,974,250	合計	10,089,440	10,974,250

### 積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	2,040,739		494	2,041,233	助成金
債券(中国ファンド)	2,219,035		190	2,219,225	積立金
債券(M M F)	20,913,401		9,109	20,922,510	積立金
合計	25,173,175		9,793	25,182,968	

平成15年年度の収支報告書を監査致しました。  
その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成16年5月24日

会計監査 笠原 忠雄 印  
小島 浩 印

## 平成16年度 事業計画書

### 【事業部】

- ①旅行会の企画・運営・管理 (第22回目実施済)  
日時：平成16年9月11日(土)・12日(日)  
行先：湯西川温泉 (栃木県)  
会費：25,000円 参加者：26名
- ②東実祭に参加・運営 (実施済)  
日時：平成16年11月6日(土)・7日(日)  
同窓会室に、各卒業年度のアルバムの展示、  
「どら焼き」の販売などを行いました。
- ③新年会の企画・運営・管理  
日時：平成17年1月29日(土) (実施済)  
会場：品川プリンスホテル新館 会費：8,000円
- ④その他の事業に関する事項等

### 【会計部】

- ①年度会計管理・決算報告書作成

【既に実施・開催された事業については、  
その内容を報告に代えさせていただきます】

### 【総務部】

- ①総会の企画・運営・管理 (開催済)  
日時：平成16年6月5日(土) 15時～  
場所：プラザ・アペア(蒲田)  
総会后、同会場で懇親会(会費:3,000円)を  
開催いたしました。
- ②会員名簿作成・管理
- ③各期の幹事の方に同窓会への参加の推進

### 【企画部】

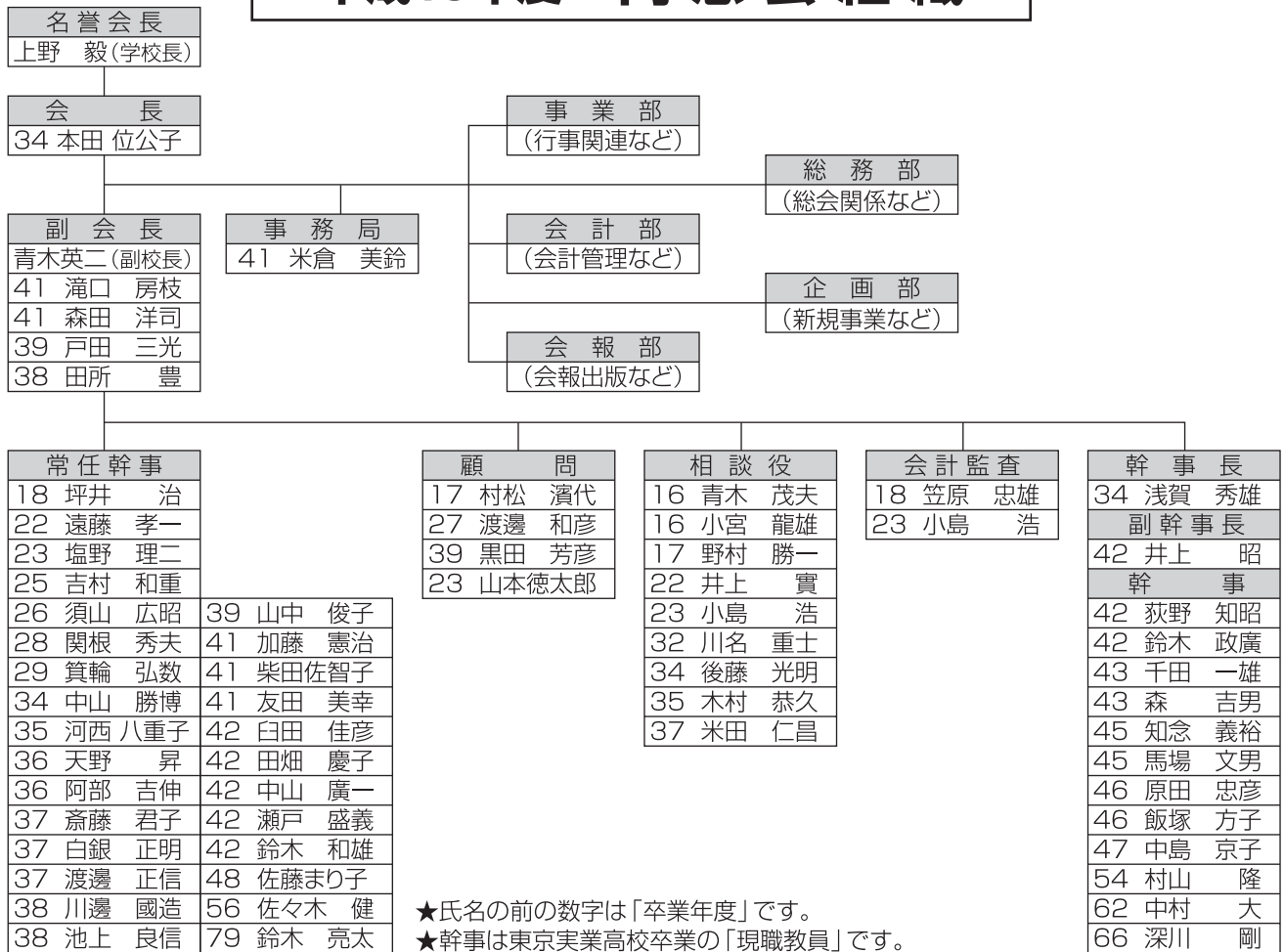
- ①新規事業の企画・運営
- ②会則に関する事項
- ③同窓会に関する庶務一般

### 【会報部】

- ①会報企画・編集・出版(16号発行)



# 平成16年度 同窓会組織



## 定期総会

平成16年度の定期総会が6月5日(土)午後3時から、於プラザ・アペアで開催されました。36期天野昇氏の司会のもと、今回は役員改選の年に当り、新会長に34期本田位公子氏が選任されました。

常任幹事の方は皆そのまま留任。新しい常任幹事に4名が任命されました。38期池上良信氏、42期瀬戸盛義氏、42期鈴木和雄氏、79期鈴木亮太氏です。皆様のご理解、ご協力のもと、予算面、事業面等、8議案すべてに承認を得、つつがなく閉会となりました。続きまして第二部の懇親会に移り、司会を37期白銀正明氏にお願い致しました。

ご来賓に東京高校同窓会会長河津章夫様のご出席をいただきながら、楽しく語り、最後に全員が校歌斉唱で幕を閉じる事が出来ました。ありがとうございました。(H. I)

めっき材料総合商社

株式会社 **三 松**

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11  
 〒114-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)  
 営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45  
 〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)

第17期 村松 濱代

… ゆったり …  
**都南ユウキ  
 パーキング**

〒114-0044  
 東京都大田区本羽田3-23-46  
 TEL・FAX 03 (3745) 0891

第32期 石井 澄枝

## 初めて懇親旅行 に参加して



第34期 中山 勝博

会として親睦の楽しみのひとつ、同窓会懇親旅行、行き先は、平家落人の里として知られる湯西川温泉。

貸切バスで母校より出発、高速道に入るとしばらく単調な行程、車内で楽しく過ごせるよう手元には、缶ビールやジュースそれにお菓子など、口を“もぐもぐ”させながら車中カラオケ大会、ビンゴゲーム、ナンバーズゲームなどを楽しくムード上昇のバス往復。旅行会担当の田所幹事さん、ガイドの役割と司会者での大奮闘は大変にご苦労さまでした。

宿は八百有余年の歴史のある「彩り湯かしき花と華」。

仲間で“いろり”を囲み懇親交流の宴会、歌とゲームで盛り上がり、ムード最高のさなか夜の“とばり”を迎えた。いい湯だな、いい湯だな！と湯煙のなかで同じ学校の卒業生が学生時代を回顧し、今日の出会いに親睦を深めた宿であった。卒業年度の違いからくる参加者の年齢差や社会的経験や立場の違いなどあるが、皆が楽しく語りすごせたことは、価値が大変高く、関係者の方々と皆様方の努力に感謝しています。

楽しい旅行であった。……！また来年……！



平家の里にて

## 旅行の思い出



第56期 佐々木 健

今回の旅行は、昨年に引き続き2回目の旅行でした。

私は、父（17期佐々木努）が亡くなった後、平成15年度からこの同窓会の幹事になりました。それまでは、父から同窓会が、色々の事業を行っていることを聞いてはいましたが、一度も参加したことがなく、幹事になってから参加するようになりました。その中で、やはり懇親旅行が一番楽しみです。

今になって、父が生きているとき、一緒に参加しておけばよかった…と！後悔しています。今回は、昨年と行き先も・メンバーも違った上、参加者の中では、自分が最年少だったので、最初は少し緊張気味だったが、車中でのカラオケで緊張もほぐれて、皆さんと一緒に自分も歌い、とても楽しかったです。

宴会で風船割りをしたが、個人的には、あれは身体に良くないので止めて欲しかったです。

これからも父の残した功績を引き継いで、この会を楽しくしていきたいと思っています。きっと、父も今頃、天国で喜んでくれていることでしょう（父の一番の喜びは、自分がお嫁さんをもらった時かな…）。これからも父に倣い、この会を少しでも大きくするために、自分なりに努力して行きたいと思っています。



湯西川温泉駅前にて

## 同期会からの報告

懐かしき34期  
の我がクラス

第34期 喜納 淳

私たちは34期機械科C組の卒業生です。八田先生を囲んで、昨年11月26日に64歳になった懐かしき我がクラスの面々が26年ぶりに集いました。45名のクラスメートの5人が逝去、当初から音信不通者13人、今回の音信不通者9人、連絡の取れた者18人、そして、出席者10人でした。

おそらく連絡がとれている者同士が永い歳月の過ぎる中で遠い青春の日々に学んだ絆として続くのでしょうか。

卒業時に就職した会社に定年まで働き役職や取締役になった人、写真家として現在も活躍している人、若き時に南極越冬隊に参加した人、会社を経営している人など、皆自分の人生を築いた顔は輝いていました。卒業時の顔とその容姿は変わっていたけれど、思い出の中から甦ってきた心はあのころと同じでした。そして、クラスメートの年賀状が新たに増えました。懐かしさの内に別れてしまったような時間が残念です。もっと語り合いたかったとの苦情でした。

時の流れは悠久の彼方まで続いているけれど、限られた人生の過ぎ去る流れの折々に、仲間と心地よい時間を過ごし、語り合うことは、私達の宝物です。

## 26年ぶりの再会の印象

- 私の教え子が 私が教え子なのかわからないお前達もっと若くナレ!! (八田先生)
- 歳取るのは早いぞ!!  
君たち…これからも元気で働けよ……
- うっん…まあ 歳相応かな…  
でもよくわかったもんだなあ
- 太田市から来ました  
俺も変わったけど皆も変わったな…
- 2人はいつもこうです 真剣に聞いている…  
往時に戻ったみたい (隣の人と…)
- 俺もう 真剣に応援するよおー 楽天家の  
田中氏(うし)です  
(参加した本田同窓会長に…)
- この前から26年ぶりね… 皆が懐かしいよ…
- ひとつ聞いて ひとつだよ…  
あの子の商業科に好きな人がいてね…
- 往時のエルピスプレスリです  
おれも目当ての子がいたんだよなー
- 来期には市議員に立候補しては…  
だめですな忙しくて…  
(これはジョークです)

「箱根一泊旅行」  
で同期会開催

第23期 塩野 理二

第23期の平成16年度の同期会が6月27～28日、箱根小湧谷「金型はこね荘」に於いて開催された。最近、温泉各地で話題をふりまいている、わかし湯問題には無関係で、箱根特有の豊富な温泉に、一同ゆっくりとつかり、日頃の疲れをときほぐした。

一同、3時に会場に集結(個々に)し、くつろぎの後、先ず物故者(三名)の追悼、参加者が個々の近況を報告した後、約2時間に亘り、懐石料理をいただきながら、懇親のひとつきを過ごした。

しめくくり、吉本氏の校歌演奏(ハーモニカ)、記念撮影で閉会。引続き有志がカラオケ会場で、自慢の喉を披露した。参加者は16名で、一泊二日の旅行を通して、同期の絆を、一層深めた。(会場の「金型はこね荘」は、準備委員宮島氏の、勤務先の健保の保養所である)



参加者一同

## … クラス会再開 …



第32期 石井 澄枝



昭和29年4月に女子部が発足し、早や50年余りの歳月が過ぎ、10年ぶりにクラス会を再開しました(私達がはじめての女子部です)。一昨年1月と9月に食事会、12月に水上温泉一泊、昨年10月に三浦海岸のマホロバー泊、毎回東実時代三年間の思い出話に花が咲く。



## 甲子園を目指して



野球部監督 山下 秀徳

東京実業高校野球部は学校史の中に、1938年（昭和13年）創部と載っています。また、白球譜を繙いて見ると、1938年つまり創部の年に、第24回全国中学校野球大会、東京大会に初出場、2回戦杉並中に10対5で勝利、3回戦帝京商に2対7で敗退、優勝は日大三中という記録が残っています。今年で創部67年を迎える訳ですが、この長い歴史を刻むには、歴代の部長、監督、コーチを始めとする野球部諸関係者の皆様のご尽力とご苦労は並大抵ではなかったと思います。私も現在監督としての立場上、使命感と共に責任感を強く感じています。

私は選手時代に全国大会を経験し、監督としても甲子園の桜舞台に立たせて頂きました。甲子園は高校球児にとって憧れですが、私達指導者にとっても憧れであり目標です。昭和56年、監督に就任した私は、甲子園を夢見一切の妥協を許さず徹底的に鍛え、選手も精一杯努力しましたが満足できるような結果を得ることができませんでした。私自身、勝つことの難しさは経験の中で充分承知していたつもりですが、当時は何故勝負に負けてしまうのか随分悩み、自問自答の繰り返しでした。

平成に入る頃から、上位に進出する機会が多くなり、現在も確実に力をつけておりますが、課題も山積しています。

一番の課題は意識改革を図ることであり、私の指導の徹底を含め部員の意識を高めなければ絶対に甲子園へは行けません。意識が変われば取り組む姿勢が変わり、姿勢が変われば行動が変わります。それは野球だけに限らず、学校生活、家庭生活全てに共通することだと思います。これを選手が理解し、素直に謙虚に受け止め、高いレベルの改革が出来た時に初めて逆説的に「負け」を知り、甲子園出場への権利が得られるものと信じています。

最後に私事ですが、私は二男秀幸を平成7年に亡くしています。四年間の闘病生活、入退院を繰り返した末、小学校入学直後の死別でした。この期間、「病気で苦しむ子供の為に」また、「家族にも、選手にも迷惑を懸けることは出来ない」との理由から、監督を辞任しようと何度も考え、相談もしました。私の人生最大の苦悩の時期でした。この苦境を乗り越えることが出来たのは家族の絆であり、精神的に衰弱していた私に温かい激励や勇気を与えて下さった方々のお陰だと感謝しています。

高校野球は、人間形成という目的が基本理念としてあり、選手達が三年間の選手生活の中で心の成長を遂げ、目標を達成することが出来れば、私にとって最高の喜びです。OBの夢、また、私達の目標である甲子園出場に向けて、私も微力ですが、選手に合った野球を見極めながら、勝つ為の努力を継続していきたいと思っています。

皆様方今後とも、ご協力・ご支援の程、宜しくお願い致します。



平成16年 夏の東東京都大会（関東一高に勝利）



# 先生と焼肉



第17期 羽下 良夫

你好、昭和15,6年頃のことである。当時、東実に伊藤先生といわれる、いが栗頭の先生がいらっしゃって、私共に中国語を教えておられた。熱心な講義で真面目一徹の先生に思えた。ところが、その先生が或る日の授業時間に、突然焼肉の話をしたのには驚いた。先生がお若い頃、韓国にお住まいになっていた頃のお話なので、いつの間にか焼肉の話になったのだ。「味つけした薄切りの牛肉をカンテキ（七輪）の上に網を渡し、煙にむせびながら熱いうちにフー・フーとタレをつけて食べる。その独特のタレが、また何とも言えない美味なのだ。秘伝はタレにあるようだ。肉は焼き過ぎてもいけない。芯にまだ赤みが残っている位なのが丁度食べ頃なのだ。熱い肉にタレをつけて、どんぶり飯の上にのせて口の中にほうりこむと、これがまた実にうまい。特に私の好きなのは、骨付きカルビ（肋骨周辺の肉）である。焼けた肉を独特の鋏を使って食べやすい大きさに切り分け、肉を食べて後の裸になった骨をもう一度コンガリ焼くと、骨のまわりにへばりつくように薄い皮ができて、その皮を手でむしりとると丁度味つきのスルメのような感じがして、それがまたばかうまいのである。酒の肴にすると酒量が増えて困るくらいである。諸君は未成年者であるから酒は飲むことはできないが、昼間働いているから収入があると思うので、折りあれば食べてみてもよいと思う」お話が終わった途端、皆のお腹の虫がグーッと鳴ったと思う。先生は、東実のインシュタイン（愛飲酒多飲）博士だったのかもしれない。隣の席の親友伊藤啓二君と早速「よし、それ程先生を魅了する骨付きカルビというやつを一度食べてみようじゃないか」と好奇心にかられて焼肉食堂を探し廻ったが、なかなか見つけることができなかった。

間もなく暮れに卒業……。 (時恰も、太平洋戦争のさ中である。) 翌年二月に召集を受け、郷里の村松聯隊に入隊。伊藤君は千葉習志野に入隊で二人はしばらくの間、別れ別れになる……。それから、いろいろあり焼肉のことは忘れていた……。やがて、日本の敗戦で終戦を迎える。抑留生活二年後に、漸く一面焦土と化した広島宇品港に上陸第一歩を踏み・復員・帰郷・職探し……。当時すでに国土復興を目指して、焼け跡にバラック建ての店が建ち、同時にまだ少なかったが焼肉屋が、あちこちに開店して、

漸く焼肉にありつくことができた。最初に食べたのが、大阪駅前梅田の味道園という店だった……と思う。お得意さんに案内されて行ったのだが、夕食前の空きっ腹にしみいる思いがして、先生のお話の通り頬がいたくなる程に美味しかった。その後の大阪出張が楽しみの一つだったように思えた。その頃の梅田界限は、戦後暫くの間は雑然とした、汚れた街であった。日が暮れると暗闇の中から、どこからともなく得体の知れぬポン引きが現れて、あまり風紀のよい場所ではなかったが、今ではすっかり整理されて大きなホテルや高層ビルの立ち並ぶ立派な文化都市に変貌して、昔の面影が全くない。

勿論、昔通った味道園は、今はない。商売上手な大阪商人のことである……どこかに移転して新しいお客の胃袋を満たしていることであろう。今では焼肉屋はいたるところにあって、食べるには不自由しないが店によっては、味付、秘伝のタレ、ガス焼き、炭火焼き、肉質等によって、いろいろあるようである。

新潟市内にも焼肉屋が沢山できたが、出かけた時には私は、福龍軒によく行く。市内中心部より少し離れているのが難点だが、他にはあまりない上等の骨付きカルビと手製のタレにひかれるのである。オーナーの60歳位のおばあちゃんに嫁さんと店員の3人で仲良くやっている。

小じんまりとした古風な一軒屋で特別愛想がよいわけではないが、家庭的で何となく居心地がよいのである。

たまたま東京に出た時には、新宿伊勢丹裏の伊勢丹会館8階のモランボンに行く。ここも年中無休で真面目な店である。メニューもいろいろそろっているし、明るい清潔な店で美人の店員さんは、みなキビキビと感じがよい。私は、いつもカウンターに一人で席をとるが、窓際のテーブル席だと眼下の靖国通りを行き交う車の行列を遠望することができる。

焼肉を食する度、忙々60余年前の伊藤先生の授業のお姿を思い出してしまう。大事な中国語の勉強は忘れてしまったが、焼肉の話だけは不思議にいつまでも忘れることができそうにない。

伊藤先生は、お歳のことと思いますが、お達者でおられることを祈っております。再見。

# 中村勝行先生のこと



第19期 伊藤 廣里

平成16年1月24日(土)、私は東実の合同新年会に出席するため、新横浜の国際ホテルに赴いた。

それは、凍てつくような寒さの大寒の夕べであった。

われわれ19期の出席者3名は、7番の卓子に着く。私の左隣りは、初対面の29期のM氏であった。

M氏は東実在学中、英語では中村勝行先生の授業をよく記憶していた。私も上級生になった時、中村先生から商業英語を教わっている。商業英語では、「拝啓」にあたる英語は、「デア・サー」である。

であるから、私たちのある者は、中村先生を、親愛をこめて、「デア・サー先生」とも言っていた。

先生はアメリカ滞在が長いためもあってか、大戦中といえども蝶ネクタイを、キリリと締めておられてダンディであった。英語の発音も、流石、流暢であった。アメリカからの引揚船が、横浜港に近づき、久し振りに富士山を仰いだ瞬間、中村先生は滂沱と涙を流されたようです、とM氏は私に語ってくれた。

私は同期のS君と、皆より大分遅れて家路についた。

ホテル玄関先のエリカの淡い赤紫の小花が、私たちを見送ってくれたのであった。

(伊藤廣里氏は、現在、実践女子大学名誉教授並びに法政大学英文学会名誉会員です)

事務局に、会員の近況報告とのことで、平成16年7月17日(土曜日)「読売新聞地域(川崎)版」の記事が届きましたので、紹介致します。(事務局) 林 二三夫・林 美恵子(旧姓内海)夫妻(夫妻共第41期)

## 元気大盛り 肉うどん

プロ野球ロッテオリオンズの本拠地だった川崎球場。プロ野球の歴史に訪れた。二〇〇二年五月に等々力球場に移転した後も、川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。

### 川崎球場から移転 高校球児にも人気

川崎球場から移転した川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。川崎市民は「肉うどん」を力球場に送りつけてきた。

等々力球場でも肉うどんを作り続ける林さん夫妻

## 生徒会報告



生徒会会長 鈴木 祐佳

昨年の5月19日に、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会が始動しました。

私にとって生徒会活動はもちろん、生徒会長は初めての経験で不安ばかりでしたが、6月16日に最初の行事である生徒総会を行いました。生徒総会は、学年ごとに開かれ、色々な意見が出されました。全校生徒が学校のことを真剣に考えていることを感じ、生徒会執行部という役割にやりがいを持つようになりました。

2学期の体育祭では、各学年が様々な競技で例年以上の盛り上がりを見せました。また、文化祭も、一昨年の来場人数を上回る2,855人もの方にご来校頂き、とても大盛況でした。

これからの活動として、『蒲公英』の編集・発行、三送会の企画・準備などを行っていく予定です。全ての企画において、充実したものにしていきたいと思っています。

生徒会一同協力して頑張りますので、みなさま、よろしくお願い致します。

同窓会のホームページを平成17年4月1日付にて、リニューアルして立ち上げる予定です。

同時に、URLも次のよう変更になります。本会の活動などを記載してありますので是非、一度閲覧下さい。

<http://www.tojitsu-dosokai.com>

## 写真撮影・印刷

入学案内・ポスター・卒業アルバム

東京写真工芸株式会社

TEL.03-3303-3333

東京都世田谷区船橋6-1-2

## 通信欄

27期渡邊和彦氏（本会顧問、第三代会長）が、平成16年10月1日、東京都より16年度の東京都功労者表彰で、「教育功労賞」を受賞されました。

37期白銀正明氏（本会常任幹事）が、平成16年10月12日、東京都教育委員会より16年度東京都教育委員会表彰で、「体育功労賞」を受賞されました。

## 訃報

1期	小島 音松	平成9年1月23日
9期	富岡 権治	平成12年2月1日
15期	正井 顕太郎	平成4年10月17日
16期	岩出 豊	平成15年11月
17期	宮崎 祺夫	平成16年
17期	渋谷 博道	平成15年7月15日
17期	高林 恒安	平成16年4月13日
17期	田中 義郎	平成15年11月18日
17期	石渡 瑛三	平成16年5月28日
18期	藤間 定義	平成15年9月
19期	小野 銈一	平成15年10月
22期	伊丹 伸夫	平成16年5月
22期	岩島 常男	平成14年4月
30期	小笠原忠行	平成11年1月31日
34期	関根(旧鈴木)美智子	平成16年
37期	木沢(旧中村)和子	平成12年2月4日
38期	井上 一雄	平成16年

正しいメガネ・ファッション性あるメガネ  
・医療器具でもあるメガネ。を高度の技術  
でご調整しております。

## 株式会社 メガネの金正堂

〒231-0045  
横浜市中区伊勢佐木町2-68  
TEL(045)261-3418 FAX(045)261-3252

<http://www3.ocn.ne.jp/~kinshodo/>  
E-mail:kinshodo@poem.ocn.ne.jp

第18期 清水 一雄

# 事務局 だより

## 平成16年度(第80期) 卒業同窓会幹事名簿

平成17年3月卒業のクラス別同窓会幹事です。

各クラス2名(12クラス:24名)

クラス	担 任	幹 事
M・A	藤田 稔先生	安村 健佑・高橋 正輝
M・B	村山 隆先生	猪又 渉・齋藤 雄太
M・C	千田 一雄先生	◎清水 悠・○大西 勇介
E・A	長谷川 浩先生	井上 英明・◎田中 啓介
E・B	関根 勝先生	石川孝太郎・中津 亘
O・A	小畑 雅一先生	◎小向 里亜・野口 暁
O・B	田中 清江先生	◎内田 淳一・○樫木恵里奈
O・C	鈴木 光男先生	鈴木 素子・橋内 未由
O・D	宮地 裕先生	鈴木 未来・有井 尚子
O・E	毛塚 卓夫先生	上山 仁志・中島 智美
O・F	山田しのぶ先生	谷島 健太・保科 菜月
O・G	関根 章道先生	清水 博信・加藤 嘉子

注：◎代表幹事 ○副代表幹事  
学年主任=小林 正文先生

## 同窓会行事に参加を!

定期総会(6月)懇親旅行(9月)新年会(1月)の同窓会行事は毎年同時期に行う予定です。どなたでも参加出来ますので、是非お友達に声を掛けて気軽にご参加下さい。事務局にお電話等でお尋ね下されば、その時期に案内状を送付致します。意外な人と会うかも知れません。皆様方、多数のご参加をお待ちしております。

## ご注意を!

同窓会と称して「只今、同窓会で名簿を作成中ですのでご寄付を」と言った紛らわしい内容で、本人の留守中家庭に電話して来る業者がいる旨の苦情が事務局に入ります。これらは、一切事務局とは関係ありません。

不審と思われる時は、次のような対応をしてください。  
※家族には、「自分が対応するから」と言って、先方の連絡先(住所・電話・担当者名)を聞いてもらい、必要以上は応じない。特に金銭にからんだ時は即答せず、充分納得してからにする。学校に問合せるのも可。

もし、このようなことがありましたら、相手方の連絡先を事務局に通報して下さい。事務局も大迷惑をしています。お互いに連絡を取り合って被害を防ぎましょう。

### 平成17年度 定期総会のお知らせ

**日時** 平成17年6月11日(土)  
PM3:00~5:00

**場所** プラザ・アペア(蒲田)

**会費** 懇親会費 3,000円

**是非ご出席ください。**

## 常任幹事を募集しています!

皆さんの中で、同窓会のお手伝いをして下さる方が居りましたら、是非、ご協力ください。常任幹事の仕事は、2ヶ月に1回位平日の夜に集まり、同窓会行事等の打合せを行ったり、また諸行事へ積極的に参加する事等です。同窓会の輪を広げる為にも皆様力を、お貸し下さい。連絡先は、同窓会事務局へ、電話、FAX、ハガキ等でご一報下さい。よろしく申し上げます。

**Tel 03-3732-4481 Fax 03-3732-4456**

## 編集後記

本会報も、皆様方のご協力により16号を発行することができました。毎年1回発行ですので、今年で16年になります。14号よりB5版からA4版にして同窓会活動、母校の近況、同期会の様子など、できるだけ皆様方に同窓会を知っていただけるように心がけるとともに、本会報の情報提供により会員相互の交流を深め、同窓会のコンセプトでもある「ふれあいと語らいの同窓会」の組織発展の一助になればと部員一同一丸となって取り組んでおります。本号の発行にあたり、ご多忙の中、寄稿いただきました方々、校正などご協力いただいた学校の先生、広告掲載いただきました企業様、ありがとうございました。心からお礼申し上げます。(部員一同)

発行・編集 同窓会会報部			
責任者	白田 佳彦	担当	佐々木 健
担当	遠藤 孝一	協力者	志賀 由直
〃	塩野 理二	〃	本田位公子
〃	川邊 國造	事務局	米倉 美鈴
〃	佐藤まり子		